



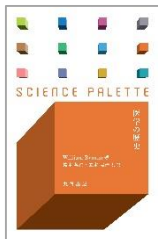
# 丸善出版 学生向けタイトルセクション

## ライフサイエンス



書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時1アクセス(本体)	同時3アクセス(本体)	商品コード
教養としての生命倫理(※)	村松 聡・松島 哲久・盛永 審一郎 編	2016年	9784621300244	¥8,580	¥12,870	1020782149

本書は、生命倫理を単に医療内部の人間のための倫理としてのみ捉えてはいません。より広く、現代を代表する倫理としてとらえ、本書は構成されています。序章で「今、なぜ生命倫理なのか」における現代の応用倫理学・市民の倫理としての生命倫理学と、医療倫理としての生命倫理の問題を呈示します。第1章から第9章までで、生命倫理の原則と理論、様々な医療倫理に関する問題、人間の生の始まりから終わりまでの具体的な生命倫理諸問題を解説しています。最終章では、先進医療の問題を扱い、現代社会で最も喫緊の課題にいかに関倫理的立場から取り組むべきかを呈示します。



医学の歴史 (サイエンス・パレット 029) (※)	William Bynum 著 鈴木 晃仁・鈴木 実佳 訳	2015年	9784621089422	¥3,300	¥4,950	1020083614
-------------------------------	----------------------------------	-------	---------------	--------	--------	------------

本書は、古代から19世紀末までの医療を、医者、患者、病院、共同体、実験室という5つの類型に分けて記述をしています。歴史的に発展した順番に、臨床、書物、病院、共同体、実験室という5つの類型が順次重層していき、20世紀以降においてそれぞれの類型が発展する様子が描かれています。各類型に登場する重要な医師も描きこむと同時に、新しい主題である疾病、患者、社会、政治に関する記述もされています。新しい医学史を参照しながら、医学の長い歴史を簡潔に説明しています。



健康・医療の情報を読み解く —健康情報学への招待— 第2版 (京大人気講義シリーズ)	中山 健夫 著	2014年	9784621087329	¥4,400	¥6,600	1015826201
--	---------	-------	---------------	--------	--------	------------

京都大学で著者が受け持つ人気講義「健康情報学」を活字化。ビッグデータの時代、あふれる情報との上手な付き合い方とは？疫学やEBMの考え方をと、身近な事例の紹介を通じて健康や医療の情報の読み解き方をわかりやすく解説します。本書の知識を応用すれば、膨大なデータから各種の健康・医療情報を適切に利用し、意思決定や問題解決、コミュニケーションに役立てることができるようになります。



薬学生・薬剤師のための コンパクト免疫学 (※)	松井 勝彦 著	2018年	9784621302828	¥9,900	¥14,850	1027659416
-----------------------------	---------	-------	---------------	--------	---------	------------

薬学生および薬剤師にとって必要な免疫学を体系的にまとめ、かつ最新の知見を網羅したテキスト。免疫学の基礎をイラストを用いて簡潔に解説した「基礎免疫学編」と、免疫関連疾患の「臨床免疫学編」からなり、読者が混乱しないよう、必要な内容に厳選しながらも免疫学の全体像を把握できるようにまとめた書籍。免疫関連疾患の発症メカニズムの基本や医薬品の添付文書に記載されている免疫学的情報を理解するうえで役立つ一冊。



薬学生のための 化学平衡ノート (※)	荒川 秀俊 著	2015年	9784621089675	¥11,880	¥17,820	1019315058
------------------------	---------	-------	---------------	---------	---------	------------

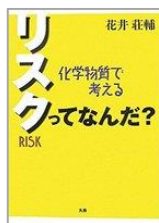
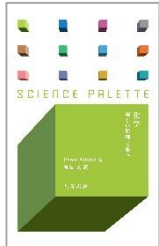
必要な化学平衡の計算の理解と計算式の展開に重きをおいて解説しています。また、化学平衡の項目ごとに、学ぶ目的や分析以外の科学に応用すべきポイント(コラム)を簡潔に整理し、理解をしやすいよう工夫しました。「化学平衡」が単なる分析化学の基礎ではなく、薬学を支える重要な学問であることを認識し、さらに興味をもって学習できるサブノートです。巻末にCBT対策問題付き。



放射線 —科学が開けたパンドラの箱— (サイエンス・パレット 018) (※)	Claudio Tuniz 著 酒井 一夫 訳	2014年	9784621088432	¥3,300	¥4,950	1018194146
--	----------------------------	-------	---------------	--------	--------	------------

この地球は放射線に満ちています。今の瞬間にも、放射線はあなたの体を通り抜けています。もちろんごく微量ですので、心配するに及ばない。ただ、放射線の存在が認識されたのは19世紀末になってから。それから100年あまりの間に、人間はその力を用いて巨大なエネルギーを手に入れたり、食品の安全性を高めたり、太古の歴史を知ることができるようになりました。一方、放射線はキュリー夫人の体を蝕み、広島・長崎で多数の人を死に追いやり、チェルノブイリや福島住民の生活に暗い影を落としました。本書では、そんな放射線と人間との関わりをコンパクトにご紹介します。放射線は私たちにどのような恩恵とリスクをもたらしたのか、その全体像がわかる一冊です。

# ライフサイエンス



書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時 1アクセス (本体)	同時 3アクセス (本体)	商品コード
化学系に役立つ基礎物理	岸野 正剛・ 小林 光一 著	2011年	9784621084991	¥6,160	¥9,240	1013867174
<p>化学系の学生に役立つ物理の教科書です。高校の物理でつまづいた経験のある学生、高校で物理を学ばずに大学の化学系学科に入学した学生にうってつけです。解説がやさしく、あまりにも丁寧なので、とにかく理解しついてゆくことができ、また、例題や演習問題は本文を読めば誰でも解けるように工夫しており、物理嫌いを払拭する教科書です。量子力学の基礎の基礎を理解したいと思っているけれど、数学と抽象的概念が苦手な化学系学生の方にお奨めです。</p>						
ゼロからはじめる化学	立屋敷 哲 著	2008年	9784621080160	¥4,840	¥7,260	1013016637
<p>高校で化学を学んで来なかった学生・不得意な学生が、化学の基礎を抵抗なく学習するための、詳しい説明がなされた学ぶための本・できるようになるための基礎化学の教科書。化学を基礎として必要とするすべての学生が、化学の基礎の基礎を理解して専門科目の学習に役立てるのに最適。学習内容に抵抗なく入り込み、概念がイメージでき、基礎が身に付く。クイズ、例題、演習問題を多数掲載。繰り返し解き、深い理解ができるようになる。</p>						
化学—美しい原理と恵み— (サイエンス・パレット 014) (※)	Peter Atkins 著 渡辺 正 訳	2014年	9784621088098	¥3,300	¥4,950	1017819863
<p>身のまわりから化学製品を消し去れば、石器時代の暮らしに戻ってしまう…と著者のアトキンスは言います。どういう意味なのでしょう？ その答えを探る旅、化学の素顔をつかむ旅に読者を誘うのが本書です。化学はいつどんなふう生まれ、何を追い求めてきたのか？ 化学者はどうやって新しいものを生み出し、その作品はどう社会に役立っているのか？ 化学者はこれから何を目指し、何ができるのか？といったことを、私たちの暮らしとからませながらお伝えします。</p>						
演習 誰でもできる 化学濃度計算 —実験・実習の基礎(※)	立屋敷 哲 著	2018年	9784621303122	¥7,920	¥11,880	1028506668
<p>著者が大学で実際に使用している講義資料をベースに、学生がどこでつまづくのか、どういった質問があったのかなどを内容に反映し、改良を重ねてまとめた演習書。実験・実習の際に必要な化学計算が苦手な方も、自分で読んで理解できるように懇切丁寧な説明、米国式の換算係数法の解説が特徴。</p>						
早わかりマイクロ化学チップ	北森 武彦 著	2006年	9784621077610	¥3,740	¥5,610	1008139861
<p>マイクロ化学チップとは、手のひらサイズの化学反応装置、すなわち化学版のマイクロチップである。小さくて、速く、高機能であり、健康診断や医療、食品分析、環境計測、物質合成、生産など、おおよそ私たちの生活全般に関わり、化学やバイオの領域に軽薄短小のコンセプトをもたらす新しい技術である。社会と生活を変え新しい産業を創成するこの技術の初歩から世界戦略までを簡潔明瞭に語る。</p>						
リスクってなんだ? —化学物質で考える—	花井 莊輔 著	2006年	9784621077542	¥5,280	¥7,920	1008139860
<p>リスク・危険、恐い、といった漠然とした不安感に苛まれて久しい現代社会。しかし、リスクのない技術、生活はなく、ゼロリスクはないのである。いま私たちに必要なのは、危険だ危険だと不安になるのではなく、有害な影響が発生する可能性を最小限に食い止めるには何をすればよいのか、合理的な情報やデータにもとづいた理性的な対話、議論に裏打ちされたリスクにもとづく意志決定である。本書は、「リスクの考え方」を化学物質に焦点をあてて入門者や初学者にもわかるよう丁寧に解説した。この考え方こそ現代社会にはもっとも必要で、成熟した考え方を、ひいては成熟した社会を形成するのである。本書はその一助を担うリスク論であり、リスクマネジメント、リスクアセスメントを始める前に読んでおきたい本。</p>						

● 表示価格は税抜きです。 ● タイトル末尾の(※)はダウンロード不可です。

2020年11月